

タイトル

新型コロナウイルスワクチン予防接種における 針刺し事案について

市内の医療機関において、新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）の際、使用済の可能性がある注射器（注射針）を使用した事案がありましたので、お知らせします。

記

- 1 発生日時：4月27日（水）午前10時頃
- 2 概要：新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）の際に、対象者1名に対し、使用済の可能性がある注射針を刺したもの。
- 3 経過：市内の医療機関において、新型コロナウイルスワクチンを接種する際に、接種医が、対象者に注射針を刺し、ワクチンを注入しようとしたところ、注射器にワクチンが入っていないことに気づき、その際に使用していた注射器（注射針）について、他の対象者に使用していた可能性があること。
- 4 対象者の健康状態等：現在、体調に特に異常はない。
- 5 医療機関における対応：
 - ・5月6日（金）に対象者の健康状態（感染症など）の確認と、B型肝炎検査、C型肝炎検査、HIV検査を実施した。
 - ・今後1年間、対象者の健康状態について経過観察を行う。
 - ・今後は、注射器へのワクチンの充填および使用済注射器の廃棄は、複数人（接種医、看護師）で確認する。
- 6 市の対応：

当該ワクチン接種を委託している医師会を通じて、再発防止に関する注意喚起を行った。

担当部署	福祉保健部 こども未来課	担当者	課長 藤田 哲也
直通	0957-73-6652	E mail	k-hoken@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは			
☎ 担当者 連絡先			